

### 1 受賞団体・個人の名称

くりはらしせみねちくじゅんかんがたのうぎょうすいしんかいぎ  
 栗原市瀬峰地区循環型農業推進会議

せみねのうじょう  
 (瀬峰農場) (宮城県栗原市)



(問い合わせ先)

栗っこ農業協同組合瀬峰支店営農課

電話番号: 0228-38-2139 FAX番号: 0228-38-3668

(経歴)

平成14年から瀬峰地区(旧瀬峰町一円)全域で、耕畜連携による土づくりを主とした循環型農業を実践

(受賞時の経営内容)

作付面積・農家戸数 水稲: 678ha 362戸 野菜: 135ha 65戸 畜産1,114頭 121戸

### 2 生産面の取組

良質堆肥生産へのこだわり

ア 当地区では、講習会等で堆肥の違いが生育状況、収量、品質等にもたらす影響を学習し、良質堆肥生産の重要性を認識

イ 耕種農家及び畜産農家双方の理解を得て、3カ所の共同堆肥舎を建設する等堆肥生産から散布までを協力して実施

なお、稲わらは、畜産の飼料や敷きわら等に有効に活用

ウ 堆肥は腐熟度を判定(スコア法)し、一定以上の品質基準を満たす良質のものを使用



良質堆肥生産による土づくりや、土壌診断結果に基づく施肥、生育環境を好適とする疎植栽培等により特別栽培農産物の生産が増加

### 3 経営面の取組

地域の耕畜連携により生産された農産物を「エコ・せみね」として商標登録、地域ブランドとして商品化

また、これらの取組を紹介するDVDを制作し消費者や流通業者へ配付



食育・環境保全型農業のPRを兼ねた「田んぼアート」、農業体験ツアー等により地域の環境保全型農業を紹介

### 4 取組の成果

特別栽培米(特別栽培農産物)の作付けは、地域の55%を占めるまでに増加、販売価格も、食味の向上を重視していることが評価され、一般米より高く取引され所得が増加

特別栽培農産物(水稲)面積の推移(ha)

年度	栽培面積	うち特 裁面積
18年度	745.0	90.1
19年度	712.0	210.0
20年度	678.0	372.0

生産される農産物の品質向上等により生産意欲が向上しエコファーマーが増加

### 5 地域社会への貢献

耕種農家と畜産農家の耕畜連携により、互いの農作業等を助け合う風習「結い」が復活  
 耕種農家や畜産農家の後継者も増加

高齢者等が所有する遊休農地や耕作放棄地が、地域の担い手により大豆や飼料作物へ切り替わり激減



県内外の問い合わせや視察が多数あり、取組を広く紹介することにより、周辺市町村における土づくりや特別栽培米の生産拡大に貢献